

## 【相談支援専門員が1年前（現計画作成時）に考えたこと】

### <本人の主訴に関して>

- 本人は母と一緒にいると喧嘩が絶えない。母と離れて過ごす場所を探して欲しいとの訴えが寄せられた。
- 年金に関しては、自分の年金のはずなのに自分で使えないのはおかしいとの訴えが寄せられた。

### <母の主訴に関して>

- 母からは、本人と一緒にいると、お金の要求などをきっかけに喧嘩が絶えない。一緒にいるのが辛いとの訴えが寄せられた。
- お金に関しては、ギリギリの生活なのに、本人の金銭要求が激しく途方にくれている。どうにかして欲しいとの訴えが寄せられた。

### <相談支援専門員として考えたこと>

- そもそも、まだ会って間がなく、本人・母のことを良く知らない中で、どうしたものか？
- とりあえず、本人・母の言葉を聞いてはみたものの、額面通りに言葉を受け止めて進めても良いものか？
- 本当は、もう少し時間を掛けて計画を考えてみたいけれど、状況が芳しくないのなら、とりあえずかもしれないが計画をできる範囲で作成する方が良いのかもしれない。
- 今後というところでは、これから本人・母と、もっと現状や今後のことに関して、会話を重ねないといけないように思う。
- 本人と母と一緒にいると喧嘩が絶えないのなら、まずは別の場所で過ごす時間を生み出すことが重要かもしれない。
- 別の場所で過ごす時間を生み出すには、通常は通所先を探すか、移動支援での外出か、短期入所・日中一時支援がサービスとしては思いつくのだが、どうしたものか？
- そもそも喧嘩の要因は、この世帯の金銭管理のありようや、生活保護制度の理解不足や、母子関係の緊密さなどにあるようだが、今の自分にその部分へ介入することはできるのだろうか？
- 一見、母の髪の毛を引っ張ったり、母を殴ったりと、本人の行動が課題に見えるが、その本質は一体何なのだろうか？そこが明確にならないと、表面的な解決にしかならないのではないだろうか？どうすれば、そのことが明確になるのだろうか？そして、どうすれば介入の足がかりが得られるようになるのだろうか？
- 今は、互いに自分が困ったことを訴えているのだが、本当はどうなりたいのだろうか？この点でも、母子で相容れないのだろうか？
- 本人は困った人とのエピソードが多いけれど、本当はどのような人なのだろうか？そもそも、どんな力が秘められているのだろうか？

### <計画作成に向けて>

かなり複雑な母子関係で、複雑な課題がある中で、現状が生じているように感じる。1年程度で解決できるようには思えない。まずは、継続した支援関係を維持することが最も重要なかもしれない。その意味で、まずは両者で折り合えそうな、通所事業所探しを提案し、母子がことなる場所で過ごす時間を確保していくことを目指してみるしかないのかもしれない。気になることは多いけれど…。